

授業科目等の概要

(医歯薬専門課程 歯科衛生士学科 I 部) 令和4年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	実務教員による授業
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			生物	一般生物学の基礎的事項を習得し、解剖・組織発生・生理学の学習へつなげる。	1前	15	1	○			○			○		
○			化学	一般化学の基礎的事項を習得し、栄養学・生化学の学習へつなげる。	1前	15	1	○			○			○		
○			キャリアデザインⅠ	卒業後の将来像を明確にし、学ぶ姿勢を身につける。	1前	15	1			○	○		○			
○			キャリアデザインⅡ	卒業後の将来像を明確にし、学ぶ姿勢を身につける。	2前	15	1			○	○		○			
○			医療倫理Ⅰ	医療人として必要な倫理観について理解する。	1前	15	1	○			○			○		○ ■
○			医療倫理Ⅱ	医療人として必要な倫理観について理解する。	2前	15	1	○			○			○		○
○			コミュニケーション技法	歯科衛生士として必要なコミュニケーションスキルを身につける。	1前	30	2	○			○			○		○ ■
○			コンピュータベースック	ワードを利用した複合文書作成力を身につける。	1後	15	1		○		○			○		○
○			歯科英語	歯科に関係する単語を中心に患者とコミュニケーションが取れる力を身につける。	2前	15	1	○			○			○		○
○			解剖学	人体の構造について理解する。	1前	30	2	○			○			○		
○			生理学	人体の諸機能について理解する。	1前	15	1	○			○			○		

○		栄養生化学	歯を中心とした口腔の主要な生化学的変化について理解する。	1前	30	2	○			○		○		
○		口腔解剖学 I	顎・顔面・口腔領域の組織や器官の構造と機能について理解する。	1前	15	1	○			○		○		
○		口腔解剖学 II	顎・顔面・口腔領域の組織や器官の構造と機能について理解する。	1後	30	2	○			○		○		
○		口腔生理学	人体および口腔の諸機能について理解する。	1前	15	1	○			○		○		
○		病理学・口腔病理学	全身や口腔領域に発生する病変の原因や発生機序について理解する。	1後	30	2	○			○		○		○ ■
○		薬理学・歯科薬理学	薬物の薬理作用を理解し、薬物を安全かつ効果的に使用するために必要な知識を理解する。	1後	30	2	○			○		○		○
○		微生物学・口腔微生物学	微生物の基礎知識およびそれらによって引き起こされる歯科領域の疾患について理解する。	1後	30	2	○			○		○		○
○		口腔衛生学 I	口腔衛生の意義、歯口清掃、う蝕の予防、歯周疾患の予防について理解する。	1後	30	2	○			○		○		○ ■
○		口腔衛生学 II	口腔衛生の意義、歯口清掃、う蝕の予防、歯周疾患の予防について理解する。	2前	30	2	○			○		○		○
○		衛生学・公衆衛生学	衛生・公衆衛生の意味や意義、健康の概念や予防の考え方などを身につける。	2後	30	2	○			○		○		○
○		衛生行政	歯科衛生士として業務に就くにあたり必要な知識を理解する。	3前	15	1	○			○		○		○
○		社会福祉学	社会保障制度や社会保険のしくみについて理解する。	3前	15	1	○			○		○		○
○		歯科衛生士概論	歯科衛生士の歴史や役割、心構えについて学び、歯科衛生士の意義を理解する。	1前	15	1	○			○		○		○ ■
○		歯科臨床概論	歯科臨床のシステムや診療の流れを学び、歯科衛生士の役割を理解する。	1前	15	1	○			○		○		○ ■
○		保存修復学	歯の硬組織疾患の修復について理解する。	2前	15	1	○			○		○		○

○		歯科保健指導論Ⅰ	口腔の衛生を維持管理し、患者の口腔に対する保健意識の向上に関わる知識、技術を理解する。	1前	30	2		○	○	○								○
○		歯科保健指導論Ⅱ	口腔の衛生を維持管理し、患者の口腔に対する保健意識の向上に関わる知識、技術を理解する。	1後	30	2		○	○	○								○
○		歯科保健指導論Ⅲ	口腔の衛生を維持管理し、患者の口腔に対する保健意識の向上に関わる知識、技術を理解する。	2後	15	1		○	○	○								○
○		歯科保健指導論演習	口腔の衛生を維持管理し、患者の口腔に対する保健意識の向上に関わる知識、技術を理解する。	2前	30	2		○	○	○								
○		栄養指導	栄養素の基礎やヒトの体内での代謝など生命維持に必要な栄養摂取と口腔疾患との関係を学ぶ。	1後	15	1	○		○								○	○
○		歯科診療補助論Ⅰ	歯科診療補助の法的な位置付けを理解し、診療の流れに則した補助に必要な知識、技術を身に付ける	1前	15	1		○	○	○								○
○		歯科診療補助論Ⅱ	各術式に必要な歯科診療器材について学び、術式に則した診療補助の知識を習熟する。	2後	15	1		○	○	○								
○		歯科診療補助論実習Ⅰ	主要歯科材料の取り扱い方について学び、技術を習得する。	1前	30	1			○	○	○							○
○		歯科診療補助論実習Ⅱ	主要歯科材料の取り扱い方について学び、技術を習得する。	1後	60	2			○	○	○							○
○		歯科診療補助論実習Ⅲ	主要歯科材料の取り扱い方について学び、技術を習得する。	2前	60	2			○	○							○	○
○		歯科診療補助論実習Ⅳ	主要歯科材料の取り扱い方について学び、技術を習得する。	2後	30	1			○	○							○	○
○		歯科放射線学	放射線の基本知識とエックス線撮影に際しての診療補助について理解する	2前	15	1	○		○								○	○
○		臨床検査	各種検査の方法とその結果から得られる情報について理解する	1後	15	1	○		○								○	○
○		臨地・臨床実習Ⅰ	歯科医療の現場で、担当指導員のもと見学や実習を行い、実践力を身につける。	2後	225	5			○	○							○	○
○		臨地・臨床実習Ⅱ	歯科医療の現場で、担当指導員のもと見学や実習を行い、実践力を身につける。	2後	225	5			○	○							○	○

○		臨地・臨床 実習Ⅲ	歯科医療の現場で、担当指導員のもと見学や 実習を行い、実践力を身につける。	3 前	225	5				○	○	○	○	○
○		臨地・臨床 実習Ⅳ	歯科医療の現場で、担当指導員のもと見学や 実習を行い、実践力を身につける。	3 前	225	5				○	○	○	○	○
○		インプラントアシスト	インプラント治療の概念を理解し、アシストワー クに必要な知識・技能を身につける。	2 後	15	1	○			○		○		○
○		審美歯科	審美歯科の知識・技術・心得・カウンセリングに ついて学ぶ。	2 後	15	1	○			○		○		○
○		チーム医療 演習	医療・福祉分野の他職種との相互理解や連携 を促し、協働する能力や患者を総合的に診る 能力を修得する	3 前	15	1	○			○		○		○
○		口腔リハビリテ ーション	高齢者や障害者に対しての口腔ケアの実践方 法を身につける。	2 後	15	1		○		○		○		○
○		摂食・嚥下機 能訓練	摂食嚥下障害について理解し、トレーニング方 法を習得する。	2 後	15	1	○			○		○		○
○		地域保健活 動	地域保健活動の基礎を理解し、歯科衛生士の 役割について理解する。	2 後	15	1	○			○		○		○
○		総合研究Ⅰ	卒業後の将来像を明確にし、学ぶ姿勢を身に 付ける	2 後	15	1		○		○		○		○
○		総合研究Ⅱ	卒業後の将来像を明確にし、学ぶ姿勢を身に 付ける	3 前	15	1		○		○		○		○
○		審美歯科Ⅰ	歯の漂白、接着の応用について学ぶ	2 後	15	1	○			○		○		○
○		審美歯科Ⅱ	審美歯科補綴について学ぶ	2 後	15	1	○			○		○		○
○		審美歯科Ⅲ	歯列矯正について学ぶ	3 前	15	1	○			○		○		○
○		審美歯科演習Ⅰ	ホワイトニングの知識・技術・カウンセリングに ついて学ぶ	2 後	30	2		○		○		○		○
○		審美歯科演習Ⅱ	MFTの知識・技術について学ぶ	3 前	15	1		○		○		○		○

○		摂食・嚥下機能訓練	摂食嚥下障害について理解し、トレーニング方法を習得する	2 後	15	1	○			○		○		○
○		地域保健活動	ホワイトニングの知識・技術・カウンセリングについて学ぶ	2 後	15	1	○			○		○		○
	○	国際教育	国際的な感性を身につけることで、相手を理解する気持ちや自分の事を良く知り、主張できる力を身につける。	2 前	15	1	○			○	○			
○		歯科衛生士 総合講座	歯科衛生士に必要な知識・技術を総合的に修得する	3 後	300	20	○			○		○		○
合計		75 科目		卒業に必要な総時間数		2625単位時間(124単位)								
				取得可能な総時間数		2640単位時間(125単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
学年毎に必修単位数を修得したものは進級となる。卒業時までに必要な科目を履修し(2625時間、124単位)、学校長が適当と認めた者は卒業となる。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	16週